



10/1 昔懐かしい「ボンネットバス」 (元市民会館ほか)

市が購入した「ボンネットバス」の出発式が行われ、出席者がバスに乗り込み、市中心部や吹屋地区などを巡り、お披露目されました。ボンネットバスを通じて、歴史と文化、伝統を観光客に発信し、市の活性化につなげるため、11月から吹屋地区で観光客らを乗せ、本格運行を始めます。運行は、春季4～6月、秋季9～11月に実施。土・日曜日と祝日に吹屋地区を巡回します。

10/9 秋の味覚を満喫 (備中やすらぎの里一帯)

「備中ふるさとまつり」(備中イベント実行委員会主催)が行われ、多くの来場者でにぎわいました。特設テントでは地元のコミュニティ協議会など関係団体がピオーネなどの特産品を販売。ステージでは子ども備中神楽や備中太鼓などの演芸が披露され、会場を盛り上げました。開催は今年で31回目。



10/9 最後の運動会 (吹屋小学校)

児童数の減少で来春成羽小学校に統合する吹屋小学校で、児童7人と地域住民が参加し、最後の運動会が開催されました。秋晴れの空の下、児童らはリレーやダンスなど日ごろの練習の成果を披露し、地域住民と一緒に全力でプレーしました。会場には、大きな歓声が絶えず響きわたり、思い出に残る運動会となりました。

カメラあらから

Camera A la carte

まちの出来事

9/10 世界のぶどう園開園 (川上町七地)

世界15カ国59品種のブドウが栽培されている同園に、多くの家族連れらが訪れ、ブドウの見学や試食などを楽しみました。同園では、岡山で生まれた桃太郎ぶどう(瀬戸ジャイアンツ)やピオーネなど日本のブドウのほか、リザマート(ロシア)やピッテロピアンコ(イタリア)など外国産のブドウを栽培。毎年9月中旬から下旬に開園しています。



9/12 農場で稲作実習 (川上町領家)

障害者の就農をサポートする「農福連携障害者就職支援モデル事業」が市農業振興センター農業試験研究施設(川上町領家)で始まりました。本年度は精神障害者支援施設「たいようの丘」(落合町阿部)の利用者5人が参加し、指導を受けながら、5月に、あきたこまち、もち米・ココノエモチの苗を植え、黄色く実った稲を刈り取りました。



9/12 災害に備えて学ぶ (文化交流館)

「高梁市防災訓練・災害ボランティアシンポジウム」(市・市災害ボランティアセンター研究会主催)が開催されました。防災訓練では、市消防本部の隊員による救助活動を見学。東日本大震災活動報告のパネル展示(自衛隊)やメール配信サービスの紹介などがあり、シンポジウムでは「地域の安全と災害時の強さとは」をテーマに討論が行われ、災害発生時の対応や防災活動の重要性について学びました。



編集後記

▼ヒルクライムの記事を書くには、体験も必要ということ。職場の仲間と2度目の試走で吹屋へ。1時間も走ると体力も気力も限界を迎えます。そんな頃、背後から近づく自転車の気配。振り返ると本格的な装いの選手らしき人が、信じてられない速さで追い越して行き、その実力の一端を垣間見てしまいました。またこの日は大会コースを数回も往復する方がいて、驚くことばかりの1日でした。(HO)

▼福島県二本松市へ東日本大震災支援ボランティアに行ってきました。現地では、ボランティアの現状を見学。被害の大きさに衝撃を受けました。地震から半年が過ぎ、震災のニュースや新聞記事が少なくなってきました。新しい復興のなかに、一番怖いのは、忘れられることかもしれません。(KH)

▼最近気づいたことがあります。出張する時は必ず片手にカメラを持参する。広報担当としての自覚な私。広報担当としてのカメラ小僧になったのも、たまたまの出来事。それとも、かたがたのカメラコンクールの投稿するなどの間、写真撮影が好きな間に、写真撮ることも好きになっ麗い撮れるか?自然な表情や風景を撮るか?自然な表情や感信が、最後は自分の考えを密かに計画中です。(KY)